

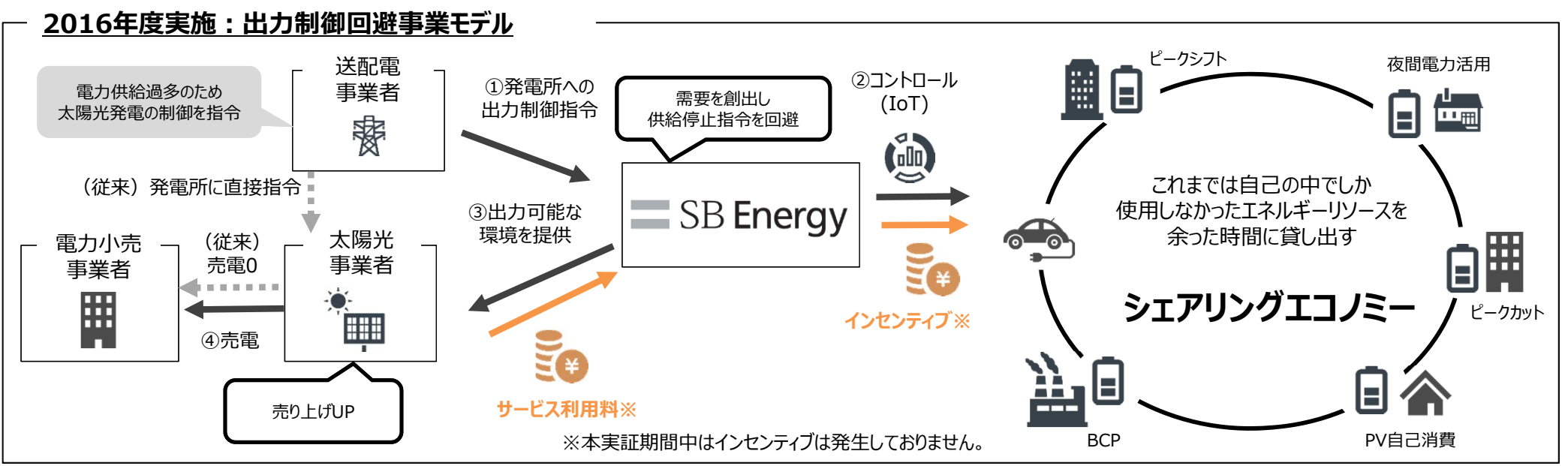
SBIナジー VPP実証事業の概要

- 九州エリアにおける需要側リソースアグリゲーション -

2017年9月29日
SBIナジー株式会社

1. 昨年度実績と本年度目的

本年度は昨年度実証事業（太陽光発電の出力制御対応）の課題に対する解決策の検討および調整力供給という新たな課題の検証を実施する。



【2016年度実証事業時の課題】

1. 技術面：系統に分散設置されたエネルギーリソース制御要件の整理（制御周期など）
2. 制度面：小売電気事業者の調達計画等への影響
3. 事業面：エネルギーリソースとの通信（コスト, セキュリティー）

実証事業により課題を解決し、早期事業化を目指す

2. 平成29年度実施計画

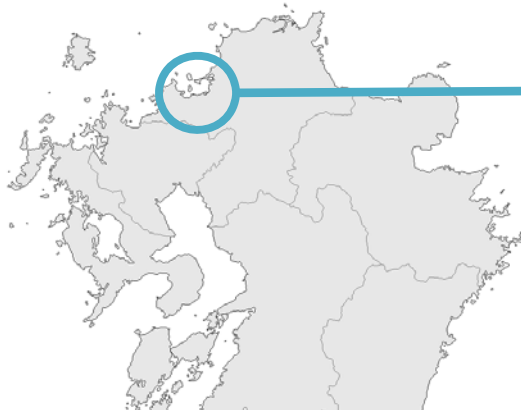
太陽光発電の出力制御対応に関する課題検証に加え、送配電事業者や小売電気事業者へ向けたVPPサービスの実証を実施する。

出力制御対応課題の検証

No.	実証項目	対象リソース種別	対象エリア	協力会社
1	リソース制御要件の検証	太陽光発電所	壱岐市、九州本土	九州電力(株)
2	需給変動通知フローの検証	太陽光発電所 家庭用・業務用・産業用蓄電池、家庭用エコキュート	九州本土	(株)Loop
3	LoRa通信のVPP活用検証	家庭用・業務用・産業用蓄電池、家庭用エコキュート	福岡市	福岡市
4	制御対象リソース種別拡大検証	家庭用・事業用・産業用蓄電池、家庭用エコキュート	壱岐市、九州本土	(株)すまエコ

VPPサービスの拡大検証

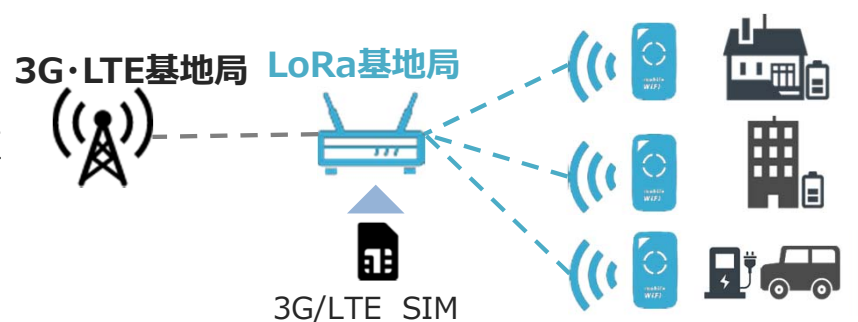
No.	実証項目	対象リソース種別	対象エリア	実証事業の協力会社
1	調整力提供（電源 I -b）	家庭用・事業用・産業用蓄電池	九州本土	
2	小売インバランス対応	家庭用・業務用・産業用蓄電池	九州本土	(株)Loop



個別検証（福岡市）

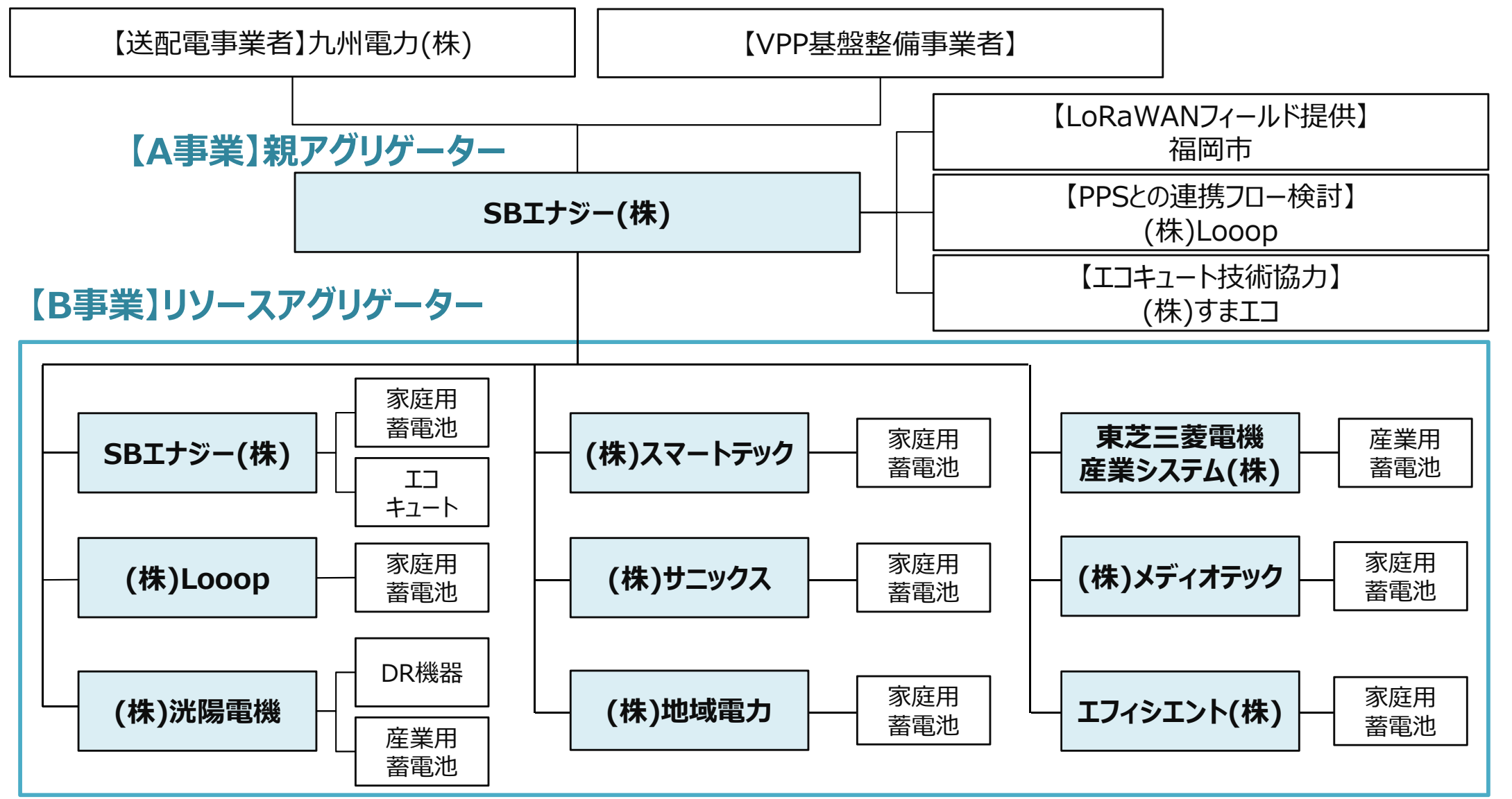
・LoRa通信のVPP活用

通信費用の低減方法として福岡市にて実証予定のLoRa通信を用い、蓄電設備の制御に関し通信速度・通信容量・確実性等、VPP事業活用に関する通信検証を行う。



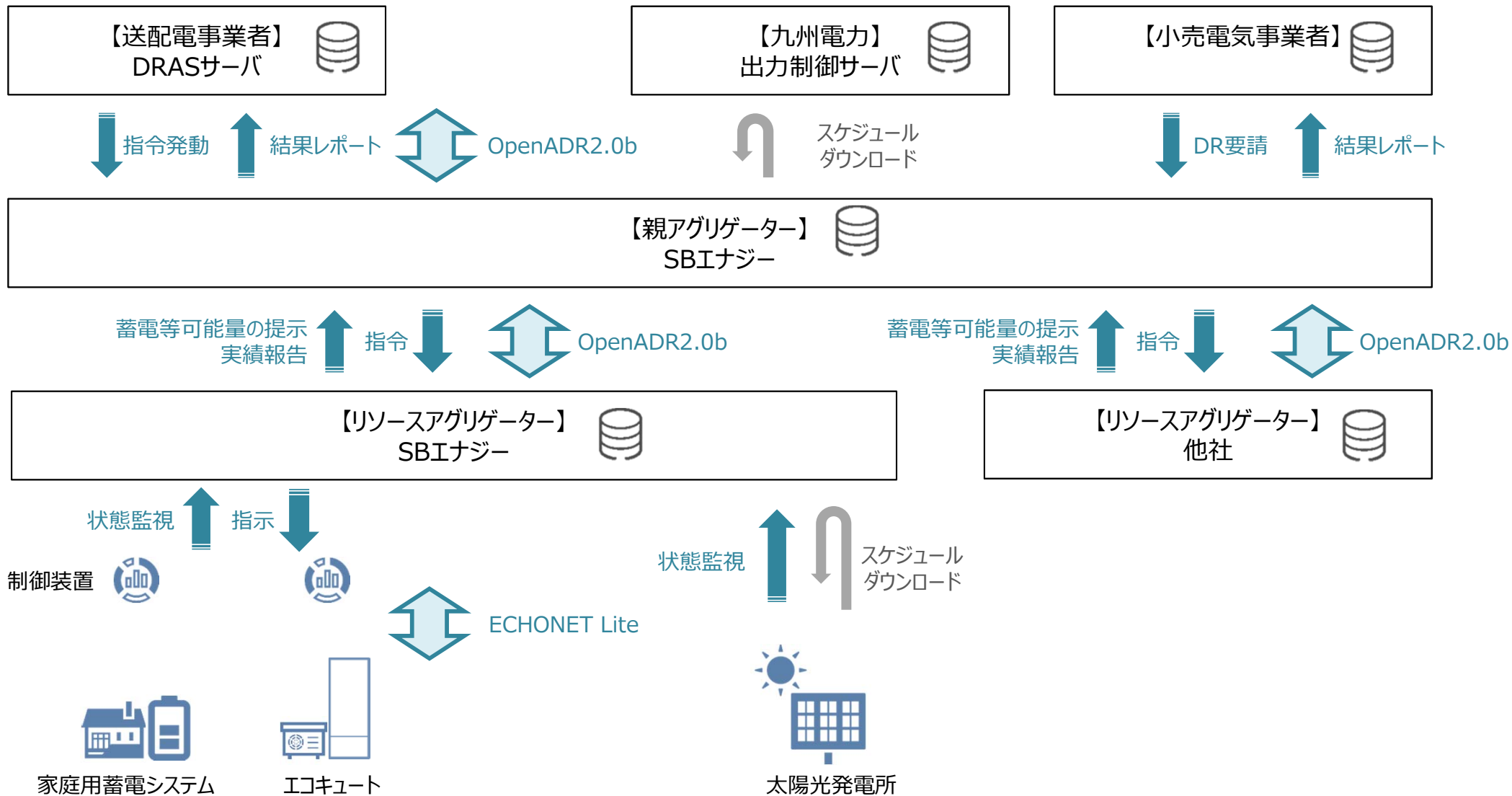
3. 実施体制

小売電気事業者を主体としたリソースアグリゲーター9社と実証事業を推進中



4 システム構成

親アグリゲーターとして上位からの指令の解析しリソースアグリゲーター別の指令を作成する。



5. 実証結果の展開計画

- VPPサービス事業の拡大により全国各エリアのニーズに対応することで、事業フィールドの拡大を目指す。
- 再生可能エネルギーを中心とした電源構成の地域新電力に対して、地域内外のリソースを活用したVPPサービスを提供することで、再生可能エネルギー比率の高い電力供給の実現を後押しする。

【VPPサービス拡大・フィールド拡大】

サービスの受け手	サービス内容
発電事業者	出力制御回避

サービス内容拡大

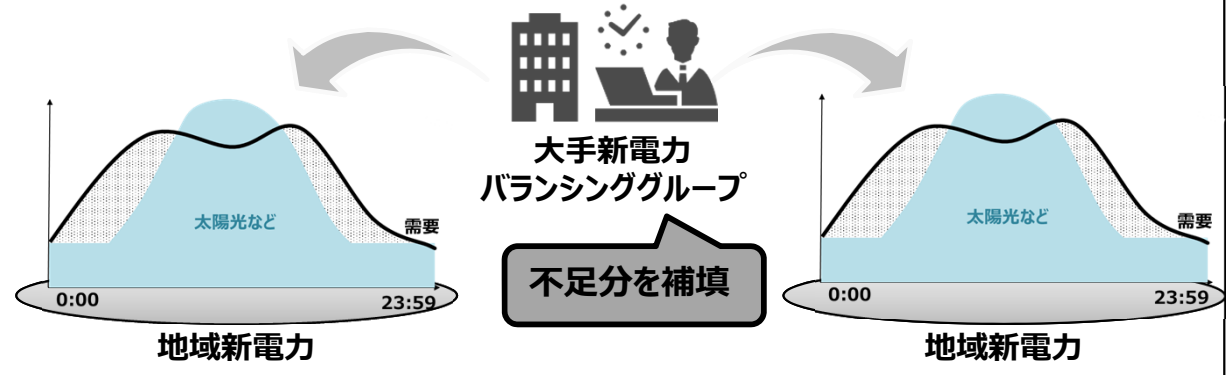
送配電事業者	系統安定化	周波数調整
		需給バランス（ネガワット含む） その他（電圧調整等）
	予備力確保	
小売事業者	電力調達・インバランス回避	
	供給力・予備力確保	

サービス内容拡大により全国各エリアのニーズに合わせた事業展開を行う

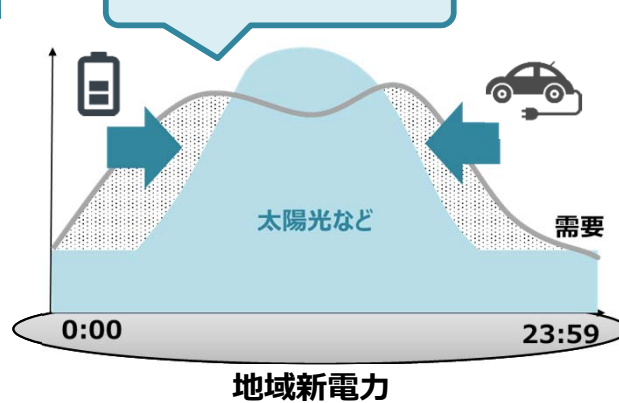


【地域でのVPP活用】

【現状】地域新電力における供給力・調整力確保



VPPによる需要変動



バランシンググループに依らず
地域内再エネの最大活用が可能に

再エネ比率の高い電力供給